

**令和2年度 第1回あさお福祉計画及び
地域包括ケアシステム推進会議 議事録**

【会議の概要】

開催日時	令和2年6月12日（金）13時00分から14時40分まで
開催場所	麻生区役所4階 第1会議室
出席者氏名	<p>(1) 委員 吉松委員長、森副委員長、村井委員、今村委員、植田委員、伴委員、原委員、吉垣委員、大川委員、河村委員、依田委員、日暮委員、高橋委員 ※麻生区町会連合会あて委員推薦依頼中</p> <p>(2) 事務局 高階事務局長、大塚地域みまもり支援センター副所長、石井地域支援課係長、石原児童家庭課長、大和田高齢・障害課長、後藤保護課長、田中衛生課長、寺嶋保育所等・地域連携担当課長、高石危機管理担当課長、沖本企画課長、野口生涯学習支援課長、森田地域ケア推進課長、白勢地域ケア推進課係長、高橋地域ケア推進課主任、重松地域ケア推進課主任</p>
議事	<p>(1) 第5期麻生区地域福祉計画について</p> <p>①進捗状況について</p> <p>②評価について</p> <p>(2) 第6期麻生区地域福祉計画の策定について</p> <p>①第6期川崎市・各区地域福祉計画策定・推進指針について</p> <p>②（仮称）地域包括ケア圏域の設定について</p> <p>③第6期麻生区地域福祉計画 全体スケジュールについて</p> <p>④第4期麻生区地域福祉活動計画について</p> <p>⑤麻生区の現況（第5回川崎市地域福祉実態調査結果分析、統計データ結果）について</p> <p>⑥第6期麻生区地域福祉計画 基本理念と基本目標について</p> <p>(3) 地域包括ケアシステム構築に向けた取組について</p> <p>①本市の地域包括ケアシステム構築に向けた方向性について</p> <p>②令和元年度中に提案された地域課題の解決策について</p> <p>③地区カルテのホームページ公開について</p> <p>(4) 今年度の会議スケジュールについて</p>

配付資料	委員名簿 座席表 あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議開催運営等要綱 資料1-1 第5期麻生区地域福祉計画進捗状況 資料1-2 第5期 麻生区地域福祉計画 中間評価（令和元年度） 資料1-3 第5期各区地域福祉計画の評価について 資料2-1 第6期川崎市・各区地域福祉計画の策定について 資料2-2 第6期川崎市・各区地域福祉計画策定・推進指針 資料3-1 第6期地域福祉計画策定に向けた基本的な方向性 資料3-2 麻生区における（仮称）地域包括ケア圏域 資料4 第6期麻生区地域福祉計画 策定スケジュール 資料5 第4期麻生区地域福祉活動計画について 資料6-1 第5回川崎市地域福祉実態調査結果概要 麻生区版 資料6-2 第5回川崎市地域福祉実態調査から見える課題 資料6-3 第6期 麻生区地域福祉計画策定用 統計データ 資料7 第6期地域福祉計画の計画体系について（骨子案） 参考 第6期麻生区地域福祉計画 基本施策と具体的な取組（案） 資料8-1 超高齢化社会の到来に向けた地域包括ケアシステムのあり方検討会議 報告書（概要） 資料8-2 令和元年度中に提案された地域課題の解決策について 資料8-3 地区カルテのホームページ公開について
傍聴人の数	0名
公開・非公開	公開

【議事要旨】

発言者	発言要旨
事務局	次第1 開会 司会挨拶
高階所長	次第1 事務局長挨拶 皆さんこんにちは、昨年度に引き続きまして、あさお福祉計画と地域包括ケアシステム推進会議の事務局長を務めさせていただきます。麻生区地域みまもり支援センター所長の高階と申します。よろしくお願いいたします。 本日はお忙しいなか、また梅雨時の天気が不順のなか、さらに新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除されましたけれども、with コロナの最初の会議ということで皆様にご出席いただきありがとうございます。 今年度は、第6期の地域福祉計画の策定年でありまして、10月に市の地域福祉計画の素案と区の素案をまとめなくてはならないということで、それまでに3回の会議を開催させていただく予定となっております。 皆様のいろいろな活動の意見を反映させていただくとともに、コロナ禍の会議ということで効率的に会議を進めさせていただきたいと思っております。

	よろしくお願ひいたします。
事務局	次第1 事務局説明 ※資料説明（次第裏面の資料一覧で確認） ※報告事項（会議公開及び会議録作成のため録音の承認、コロナウイルス対策の連絡） 次第1 委員自己紹介 ※報告事項（団体推薦の麻生区町会連合会について推薦依頼中の説明）
各委員	（各自・自己紹介）
事務局	次第1 事務局自己紹介 ※報告事項（代理出席者、(株)アシスト同席の連絡）
事務局	（各自・自己紹介）
事務局	以上となります。 ※報告事項（生涯学習支援課長の途中参加） それでは、本日の議事に移ります。 ここからの進行については、吉松委員長にお任せしたいと存じます。 吉松委員長、どうぞよろしくお願ひいたします。
吉松委員長	皆様、こんにちは。 委員長ということで議事進行をさせていただきます。吉松です。よろしくお願ひいたします。 本日は、新年度になって初めての会議となります。第5期麻生区地域福祉計画の昨年度の評価を行い、併せて各資料から麻生区の課題を確認してまいります。 また、第6期計画の基本理念などについても議事を進めていきますので、皆様ぜひ活発なご意見をお願ひいたします。 本会議が円滑に進行するよう努めてまいります、本日は大変議題が多いようですので、どうぞよろしくお願ひいたします。 それでは、さっそく次第に従って、議事を進めてまいりたいと思います。 では、議事1の説明を事務局からお願ひします。
事務局	これより議事の方に移らせていただきます。 （1）第5期麻生区地域福祉計画についての①進捗状況についてと②評価について、説明させていただきます。
事務局	議事（1）第5期麻生区地域福祉計画について ①進捗状況について ②評価について ※資料1-1、1-2、1-3に基づき説明
吉松委員長	ありがとうございました。 ただ今の説明に関して、どなたかご意見・ご質問はございますか。
日暮委員	ちょっとお尋ねしたいんですけども。私も第5期の審議に関わった一員として、評価が非常に関心事なんでございます。この中間評価を見ますと、事業

	<p>の達成度というところで、各取り組み全てが3ということでランクされて、「ほぼ達成」という評価ですが、「ほぼ」という言葉のニュアンスがいかかかなというふうに思っております。</p> <p>説明にはなかったんですけども、資料1-3のところの裏側のほうに、1つランクが上の表現は、なるほどちょっときつい、「目標を上回って達成」ということですので、なかなか気軽には書けないかなというふうに思ったんですけども。</p> <p>今説明を伺っていて、資料1-2の第1の人材の育成の推進について、村井先生が中心となり作ってくださった「ちいきのちからシート」の活用。これの効果で、かなりの団体数と人数が載せられておりますが、これなどは2でいいかと思うんですけども、甘いでしょうか。</p> <p>ここの表現では上回ってというふうなことであるようですから、ちょっとあれかなと、遠慮されたかなという気がするところがございます。</p> <p>その辺の評価の基準は全市、川崎市全体が同じで審議されるだろうと思うんですけども。従って、チェック項目も全部同じだと思ってよろしいでしょうか。</p> <p>また、この評価につきましては、基準は分かったんですけども、最終的に判断される手続きというのでしょうか、筋道というのでしょうか、流れというのでしょうか、その辺のところもちょっとお伺いしてよろしいでしょうか。お願いします。</p>
<p>事務局 (地域ケア推進課)</p>	<p>基本的な考え方で、今の委員のご指摘は大変ありがたく思っています。</p> <p>麻生区の地域福祉計画を策定する段階で、基本的な考え方としては、達成目標をそう低くは見えてなくて。一生懸命やることができるぐらいの目標で計画を立てたという立場があります。</p> <p>それを大きくというか上回ってというところになると、謙虚過ぎるというご指摘もいただきましたけれども、そこまでは行っていないというか。村井先生と一緒に、町会、自治会、地域活動団体の方々をはじめ、地域づくりに向けて確かに昨年は精力的にかなりやらせていただいて、認知度という面で地域の方との共有も結構進んでおります。</p> <p>まだ多分これは発展途上の段階で、今後についても引き続き共有の取り組みをしていきたいということです。取りあえず今年度については「ほぼ達成」というような形で、一応書かせていただいているところでございます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>吉松委員長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>どなたかございますか。</p> <p>村井先生。</p>
<p>村井委員</p>	<p>ありがとうございました。大変うれしいコメントを頂きまして。</p> <p>私も、これは本当に他の自治体を見ている中で言えば、オリジナルのツールを開発して、これだけのワークショップを実現させてということは、お手盛りになりますけれども、上回っているんじゃないかなと思ったりもしております。</p>

	<p>す。</p> <p>その中で、全体的に総評としては、特別高くなり過ぎても、他の施策もどちらかというバランス良くやっていかなきゃいけないので、変に低いものが表れたり、変に高いものが表れるのはバランスの悪い施策の展開なので、どうしてもこうなりやすいというところだと思います。</p> <p>ただ、できていないものはできていないという事実を認識した上で、次年度の計画にきちんと改善計画を反映させていくことが、とにかく一番大事なところですよ。上回っていれば問題はないというふうに考えられます。</p> <p>ですから、なかなか評価は、なかなかどころじゃなく、大変に難しく。計画を作ったときに、具体的な達成の終了後の形とか、数値目標とか、平均値をずっと何年も追い掛けていて、その平均値、いわゆるベンチマークを上回ったとかそういうことを幾つか作らないと、なかなか客観的に達成度を上回ったということは言いにくい。</p> <p>ましてや地域福祉は多様なパラメーターで構成されていて、たくさんの登場人物とたくさんの施策が複雑に絡み合っている中では、なかなか客観視ができないということなんです。だから、ものすごく主観的なものになりやすい。</p> <p>その中でも謙虚だなと私も思っております。ぜひ立派な活動だと、大いに盛り上がっていただきたい。</p> <p>全体のことで一つだけあるとしたら、人材育成のところでは、中間評価ですからもいいんですけども、今後の戦略としては、3年間の人材育成研修計画のようなものを少し戦略的に持ってもいい。その辺りをコメントとしては付け足せるかなと思っております。</p> <p>そんなところです。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>まだまだ意見はあると思いますけれども、時間も限られておりますので、議事の(2)に進みたいと思います。</p> <p>議事の(2)の第6期麻生区地域福祉計画策定について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、(2)第6期麻生区地域福祉計画の策定についてでございますが、①第6期川崎市・各区地域福祉計画策定・推進指針について、また②の(仮称)地域包括ケア圏域の設定について説明させていただきます。</p>
事務局	<p>議事(2)第6期麻生区地域福祉計画の策定について</p> <p>①第6期川崎市・各区地域福祉計画策定・推進指針について</p> <p>②(仮称)地域包括ケア圏域の設定について</p> <p>※資料2-1、2-2、3-1、3-2に基づき説明</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>どなたかご意見・ご質問はございますでしょうか。</p> <p>なければ村井先生は。</p>
村井委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>もう私が第1期から待ち望んでいた結果になりました。ずっと小地域という</p>

言葉を使える計画が出てほしいと願っていた中で、圏域ができたとしても、その圏域の中にはまた、生活の課題の違いがあります。また、圏域は決して狭いというわけではないので、その中でも北側、西側、東側、南側によってニーズが違っていたりもするというのが実態ですので、実際には、自治会単位などでの福祉活動の推進が最小基盤となっていく可能性があります。

けれど、ある程度のこういったエリアの中で圏域を設定し、社会資源、いわゆる地域福祉活動を推進するための資源が十分に整っているかどうか、地区によってバランスが悪くなっているかどうか。それから、地域特性に応じたニーズの解決策の優先順位が異なっているはずですので、そういったものを設置することができるというのは画期的であると言えます。

となると、今後圏域ごとに小地域福祉計画のようなものが必要になってくるということが、まず一つの大きな戦略展開なのかなと。地域特性に応じた地域ごとの計画作りというものが必要になってくると同時に、先ほど言ったそれぞれの計画を達成したり推進するに於いてのさまざまなリソース、社会資源が不足している場合は、それをどうやって整理・充実させていくのかということが大きな目的になってこようかと思えます。でも、こういったものが出来上がるというのは大きいことだと思います。

あとは、私が地域福祉をやっていることは、いわゆる一般でいうところの地域包括ケアシステムと、川崎型の地域包括ケアシステムでは、先進性が川崎のほうがはるかにあるものと思っているんですが。

ただ、圏域会議という会議が例えばこの地区別の会議とどう関係するのか。地域福祉のための会議なのか、それともあくまで介護保険のための、介護保険の中で言うところの地域包括ケアシステムの会議なのかといったときの、そういった整理も今後必要になってくるのかなと思えます。

結果的に地域づくりをする。だけど高齢者のためだけの地域づくりをするということは多分できないと思うので。そういった生活支援体制整備事業とかサービスBとかそういったものも、地域福祉計画を基準に整備し、統一性のある方針を作っていくと、船頭が多くなっていく可能性もあるのでは。

まさに川崎は、それを一つの体系立てて進めていこうということをやってくださっているので、大変楽しみな内容です。会議体が複数にまたがって、高齢者だけのこと、障害者だけのこと、地域福祉だけのことというふうに、違う議論にならないように、一つ方針を、しっかりとした柱を持った上で進めていければとすごく思いました。でも、画期的な内容でございます。

あとは、民生委員さんに大きな負担が掛かるんじゃないかと。民生委員さん単位でエリアをつくったので、結局そのマネジメントは、どうしても民生委員さんとその民生委員さんを支援する担当者に負担が掛かってきそうなので、そのバックアップ体制はすごく大事なのかなと思っております。

また、他の6区は地区社協支援という形で展開できるんですが、6区のノウハウとわが区のノウハウがちょっと共通しないので、どうしようかなという。地区社協と連携しながら小地域をつくっていくという、そういった仕組みにな

	<p>るのかなど。</p> <p>今後、地区社協を含む、勝手なことを言って申し訳ないんですけども、6区、小地域、さらに小さく分けて運営して下さるようなビジョンを戦略的には持っていかなきゃいけないかなど。</p> <p>これは、ただ、地区社協さん自身の考え方がとても大事なので、6区は分けてくださいと勝手に言うわけにもいかないのです。でも、必要なのかもしれないということで。そんなふうに感じました。</p> <p>新しい麻生の地域福祉のスタートを強く私は感じたので、これはすごいことだと、皆さんと共有したいと思ってお伝えさせていただきました。</p> <p>以上でございます。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p>
依田委員	<p>柿生地区社協の依田でございます。</p> <p>今の村井先生の言葉に、私もとても共感して伺わせていただきました。本当に大事な一步一步がこの計画の中に位置付けられているんだというふうに、本当にうれしく思っています。</p> <p>一つそのことで質問なんでございますが。今、この民児協の区分けの地図を拝見して、随分エリアの大きさにばらつきがあるなということをしみじみと思いました。また、柿生地区社協と東地区社協の線もずれておりますし、あと地域包括支援センターのエリアとも、やはりずれがあります。</p> <p>この辺りも、もう民児協でいこうということであれば、もちろん何かを軸にしてそろえていくという活動を時間をかけてやらないと。あったらいいなにならないように。もしやるとなれば、その方向へ住民さんといろいろ議論をしていって、よければそれで連動していくという方向性が必要かなというふうに本当に思っています。</p> <p>実は、柿生地区社協も去年、小地域活動と言ってはいるけれども、なかなかそういう圏域で議論ができていない。柿生地区社協はとても大きいんです。それもありまして、どうやって分散するかということの議論も始めてはいたんです。今回コロナでちょっとタイミングを逸していますけれども、もう区のほうはこういう形でご提示していただくとすれば、その上で本当に、地区社協としても、持ち帰ってみんなで議論したいというふうに思いました。</p> <p>一つ、でも、気になっていたことは、民児協のこのエリアがだいぶ大きさが違うので。ちょっと気になりますのは、包括なんかだと人口比でエリアを整備してきた。エリア変更をするときには、高齢者の人口であるとかさまざまな要件を入れて、ここでお客さまというかエリアを持ち持ちして分けてきた経緯があります。</p> <p>なので、いったんは住民さんに負担は掛かりますけれども、もし何かそういうことも必要なのであれば、大胆にそこは、今出発の地点としては、そのことも視野に入れた第6期の検討が進むといいなと。そんなふうに思いました。</p>
日暮委員	<p>かねがね、依田委員と話し合っているのですが、この図にございますように、まずエリア的にも、東と柿生とでは、柿生の方が倍ぐらいエリアとしては広い</p>

	<p>わけなんです。</p> <p>東の経験でいきますと、やはり問題は人材だと思います。なかなか関わってくれない。人材の育成がちょっとついていけないのではと思います。人材をいかに取り込むかということが、さらにもっと地区社協の活動の拡大とか、あるいはまた内容の充実ということにつながるんじゃないかと思っているんですけども。</p> <p>いろいろまた依田委員さんなどとお話し合いをしながら、そしてさらに活動の内容を掘り下げていくかということに努力をしたいと思っております。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p>
事務局 (地域ケア 推進課)	<p>事務局から簡単にコメントさせていただきます。今回第6期のこの計画策定で、村井先生・依田委員等のご指摘がありましたけれども、今まで区全体を一つとして見ていたものを、もうちょっときめ細やかに捉えて、それぞれの地域特性とか地形とか地域課題というものをある程度整理をすることによって、その地域の見え方がまた麻生区の中でも違ってくるということで。</p> <p>第6期については、まずその手始めとして、民生委員・児童委員さんそれぞれが、規模とか対象者の人口とかは違うかもしれませんが、それぞれの協議会の単位で地域に根差した活動をしていただいているという中で。私どものほうも地域福祉の観点からこの計画を立てるので、計画の区域としては民児協区域ということで選択をさせていただいています。地区社協という大きいエリアじゃなくて、もっと細かく皆さん活動していただいている方の情報もお聞きしながら、地域の状況・特性を、まず計画にどういう状況なのかということ盛り込むことが大事なというふうに思っております。</p> <p>村井先生から頂いた、これが発展して地域ごとの小地域の地域福祉計画というものになるべきものなんだと思うんですけども。それについては6期中に作業をして、7期の計画にどういう形で設けられるかなというように。時間的にはちょっと長めになるんですけども、一步一步進んでいけばいいかなというふうに思っているところでございます。よろしく願いいたします。</p> <p>あと、地域の状況として、これは6つになっていて、地域の概況、統計情報、人口データや地域資源につきましては、もう既に皆さんにご覧いただいているかもしれないですけども、「地区カルテ」というものを麻生区については、他の区は地区社協ごととか大きい範囲なんですけれども、町丁別で作っています。</p> <p>その「地区カルテ」については、4月の下旬に区のホームページに掲載しました。28町丁の人口データや統計情報のデータ、あと地域資源、どういう施設とかどういものが各地域にあるのかという情報をまとめたものを区のホームページに掲載しています。</p> <p>地域包括ケアシステムの帯のところにはぶら下がっていますので、区全体の状況と、それに併せて、一応表示の仕方としては6民児協の中の各町丁です。実は、一丁目、二丁目、三丁目と細かいところまでデータ分析というか、分割してデータ自体は載せているので、各皆さんが住んでいらっしゃるそのデー</p>

	<p>タと他のところのデータを見比べたりもできるかなということで活用していただければと思っていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>なので、そのデータを基に、6地域の統計データも民児協さんと共有をしながら、地域の状況なども整理していきたいと思っています。</p> <p>以上でございます。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>どうぞ。</p>
事務局 (高階所長)	<p>川崎市全体の圏域の状況について、簡単に補足させていただきますけれども。今、川崎市全部に40地区社協と56地区民児協がございまして、川崎市の南に行けば行くほど、社教区と民協区が一致しています。昔から人口が多かったり活動が活発だったりということがあるのでしょうけれども、川崎区や幸区はほとんど一緒ですが、北に行くほどだんだん町会の範囲が狭くなる場所が多くなり、それから民協区と社協区が違っているところも多くなっていくという状況になっています。</p> <p>当然、地域包括ケアシステムは顔の見える関係づくりというものが目標なので、活動する方々がいろんなところで同じ顔触れでやっていくことが理想だと思います。地域包括支援センターのエリア含めても、地域包括ケアシステムと健康福祉局地域包括ケア推進室の職員も来ていますけれども、私共も地域包括支援センターと一緒にしたほうがいいんじゃないかということは前から言っておりますので、こういう意見があったということを健康福祉局にも伝えていきたいと思っていますので宜しくお願いします。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、続きまして、議事の(2)の③について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。議事の(2)③第6期麻生区地域福祉計画の策定に向けた、全体スケジュールのご説明をさせていただきます。</p>
事務局	<p>議事(2)第6期麻生区地域福祉計画の策定について ③第6期麻生区地域福祉計画 全体スケジュールについて ※資料4に基づき説明</p>
吉松委員長	<p>ただ今の説明に関して、どなたかご意見・ご質問はございますでしょうか。</p> <p>なければ、次の議事の(2)の④について、麻生区社会福祉協議会高橋委員からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、④第4期麻生区地域福祉活動計画。こちらのほうを策定されています麻生区地域福祉協議会高橋委員から説明をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
高橋委員	<p>議事(2)第6期麻生区地域福祉計画の策定について ④第4期麻生区地域福祉活動計画について</p> <p>それでは、本日お配りさせていただいております資料5-1と資料5-2をご</p>

	<p>覧いただきながらお願いいたします。</p> <p>麻生区社協の地域福祉活動計画についてでございます。現在、麻生区社協では、平成27年度に策定いたしました第3期麻生区地域福祉活動計画「あさお『ひと・ひと』福祉プラン」を推進しておりますが、資料にもございますように、地域福祉の推進に当たりましては、社協が策定する地域福祉を進めるための活動・行動の在り方を示す計画である地域福祉活動計画と、行政が策定する地域福祉計画が双方に連携・補完し合うことにより、地域福祉を効果的に推進するというところで、こちらのほうにも記載させていただいているところでございます。</p> <p>現在の計画につきましては、これを基に、平成30年に中間見直しを行いました。麻生区地域福祉計画と計画年度を合わせるために、5カ年計画の期間を1年延長いたしまして、現在のこの第3期の計画は令和2年度、今年度までの計画期間とさせていただいております。</p> <p>それで、第4期の麻生区地域福祉活動計画につきましては、今年度麻生区社協に地域福祉活動推進委員会を開催いたしまして、地域福祉計画と計画年度を合わせて策定するというところで開催の予定をしているところでございます。</p> <p>ご参考までに、現在の第3期の麻生区地域福祉活動計画につきまして、次のページのA3の資料をご覧くださいと存じます。こちらの第3期麻生区地域福祉活動計画では、目標を「みんなでささえあう、暮らしやすいまちづくり」ということで掲げまして、3つの柱と11の大項目、31の取り組み項目で各事業に取り組んできたところでございます。</p> <p>3つの柱といたしましては、まずは「知りあう！」ということで、福祉への理解普及と情報提供。2つ目の柱といたしまして「ふれあう！」ということで、地域交流活動の推進。そして、3つ目の柱「ささえあう！」、相談体制の整備と生活支援サービスの充実ということで、それぞれの柱の下に大項目または取り組みの項目を、各事業について位置付けて推進をしているところでございます。</p> <p>現在、コロナ禍においては、社協でもさまざまな活動、事業ですとか地域の活動も休止せざるを得ない状況でございます。これまで麻生区で積み上げてきた地域のつながりを絶やさないために、新たな地域福祉活動の在り方についても、今年度取り組む第4期の麻生区地域福祉活動計画の策定でも大変重要な検討事項になってくるかと思っておりますので、こちらのあさお福祉計画と連携して、共有を図りながら策定にも着手してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、以上でございます。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今の高橋委員からの説明に関して、どなたかご意見・ご質問はございますでしょうか。</p> <p>村井先生。</p>
村井委員	<p>こちらも画期的な内容で。これまでも決して連携していないわけではなかつ</p>

	<p>たということで、相互に委員を出し合いながら、計画の内容のすり合わせとか調整とかということを進めてきたということは、私も認識しておるところですが。</p> <p>今度是一个の計画の目指すべき目標とか、それから現状の把握から計画の内容、そして進め方における役割分担。それから、一番本当に悩ましいものが評価なんですけれども。評価もある意味協力しながら PDCA サイクルを一緒に回せるようになっていくということは、本来地域福祉を進める上では、社協とか行政とか船頭がいっぱいいてどちらの計画がどちらなんだということにならないように、今回のような形が一番望ましいということで、本当に大きな大進歩だと思っております。</p> <p>そんな中で、これまでのあさお福祉計画とこれまでの「ひと・ひと」プランの合体版のようなものを整理をしていく作業が必要になってきておると思います。</p> <p>社協の計画というものは、もしかしたら委員の皆さんがご存じかどうかなんですけど、住民行動計画なので、社協が何かをするという計画じゃないんです。社協さんは社協さんで運営の別の計画はありますので、社協自身の運営とは違う、住民が主体となって活動することを社協が事務局として支援していくというところが、本来の活動計画の趣旨ですから。</p> <p>そうすると、まさに住民そのものの行動計画。ある意味で言えば、今日の6地区に分けたそれぞれの地区の住民行動計画、住民が主体となって地域をどうつくっていくのかということの非常に重要なリーダーシップを発揮して下さる可能性も多々含んでいるというものなので。</p> <p>まさにこの機会に、2つのエリアマネジメントの話と、この計画の連携が実現したということは、本当に画期的な内容かなと思っておりますので。本当にこれから手をつないで、いい形で進めていけるようにというふうに強く感じております。</p> <p>以上です。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事の(2)の⑤と⑥に関して、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>はい、それでは、議事(2)の⑤麻生区の現況、⑥第6期麻生区地域福祉計画 基本理念と基本目標について、事務局よりご説明させていただきます。</p>
事務局	<p>議事(2)第6期麻生区地域福祉計画の策定について</p> <p>⑤麻生区の現況(第5回川崎市地域福祉実態調査結果分析、統計データ結果)について</p> <p>⑥第6期麻生区地域福祉計画 基本理念と基本目標について</p> <p>※資料6-1、6-2、6-3、7、参考資料に基づき説明</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今の説明に関して、どなたかご意見・ご質問はございますでしょうか。</p>
村井委員	<p>一つは、資料ナンバーで言うと6-2でございます。資料ナンバー6-2は、多分、実態調査から見える課題が客観的にある程度出されたと思われるので、</p>

	<p>これはある意味で言えば、数的目標とか計画の目標としての一つの指標となるのかなという。だから、ここに載っているデータの数字を上げていとか、そういうところを目指すのも一つのやり方かなといったところで。</p> <p>地域福祉計画はどうしても主観的な観点、定性的な、感覚的な状況での評価ということになりやすいんですが、こういう定点観測をされたデータが定点的に向上していくというものを追い掛けていくこともできると思いますので。ベンチマーキングの手法とするか、もしくはこの数値を基に5年後、3年後にどのぐらいの数字まで持っていこうかという、そのどちらでもいいと思うんです。そんなような、一つ、改めてすごく大事な数値目標かなと思いました。</p> <p>それからもう一つは、資料7番でございますが。計画の背景が、活動計画と整合性を持った上での一つの形になっていく中で、この計画策定推進委員会というか、この計画委員会と社協さんの委員会が、どこかのタイミングで一度や二度交流をする機会とか合同開催をする機会などは、戦略的に今後もしあったらいいかなという。そんな気持ちもありましたので、どこかでビジョンの中に入れておいていただくと大変ありがたいかなと思っております。</p> <p>以上です。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>どなたか他に。はい、どうぞ。</p>
今村委員	<p>手短かにいきます。この調査なんですけれども、これはホームページとかで区民が見ることができますかということが一点と。</p> <p>もう一つ、先生のお話の前に私も思ったんですが。これは5回目ですけれども、1回目から同じ質問を中に入れ込んでいて、その答えの変化というんですか、そういうものも見ることはできるんですか。それが見ることができるかということと、もちろん区のほうでそれを把握しておられて、何らかの形で施策に反映されたりもしているんですかという。</p> <p>以上です。</p>
吉松委員長	<p>どうぞ。</p>
事務局 (地域ケア 推進課)	<p>ご指摘のご質問なんですけれども。まず、この実態調査について区民の方たちに公表されるかという部分については、今、やっとまとまっているところですので、公表はされるというふうに聞いています。</p> <p>第1回目からの調査が全部時系列に整理されているかというところですが、そこまでの整理はできていないですけれども、前回と同じ質問項目という、例えば、地ケアの理解度とか地域みまもり支援センターの認知度とか、そういう基本的な部分も引き続きの調査になっていますので。そこが何ポイント増えているとか、あまり伸び悩んでいるとか、そういう評価を比べることによって、若干いま手を付け始めているところです。</p> <p>最終的に、去年の11月、12月にこの調査をやりまして、結果が出てきたのが3月末とか4月。こういう紙でもらったのは、まだ来たばかりなんで。これからこちらでも分析をしていきたいというふうに思っています。</p> <p>村井先生のほうからも一緒のご指摘をいただいているので。ちょうど計画を</p>

	<p>策定する前年度にこの調査というものをやっているの、今度またやるときというのは、第6期の地域福祉計画の取り組みの指標となるパーセントがどのぐらい伸びているのかとか。そこで地域の課題認識とかそういう質問をしています。</p> <p>地域で一番課題認識が多いものは、高齢者の問題でした。地域の防犯・防災が二番目で、子育てに関連するものが三番目ということが、麻生区の調査結果で出てきています。そういうことも参考にしながら、意識の状況も皆さんにフィードバックしながら取り組んでいきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
吉松委員長	<p>よろしいですか。</p> <p>どうぞ。</p>
依田委員	<p>すいません。依田です。</p> <p>参考の資料の中で、具体的な討論はまた次回というふうに伺ったんですが。回数がないようですので、ちょっと気になったことがあります。一点といいますか、意見というか要望について発言をさせていただけたらと思います。</p> <p>まず、一番上の区民が主役の地域づくりの中の、基本施策の地域福祉活動のさらなる発展と、その下に区民の健康づくりの推進とありますよね。その中を見ると、介護予防とか、下だったら健康となっているんです。</p> <p>私はかねがね麻生区で活動していると思うことは、やはり縦割りがあるということ。保健師さんたちの支援とか、促進されるヘルスメイトさんとか運動系の方々、あと福祉で養成するような方々といろんな形で、地域住民さんはどちらにも顔を出されている方もいらっしゃるれば、それぞれ縦割りにつながっているという感じがしておりますので。</p> <p>例えば、こういう計画を作るときも、これは下側は健康づくりだから保健分野のテーマだと思います。上が福祉分野と。こういう書き方は、私はできるだけ避けていただいて、住民に届いたところで分かるというか。だから、縦割りでない書き方。制度が先じゃなくて、地域住民の立つところから見た書き方というものがやはり大事なのかなと思います。</p> <p>それから、その下の区民本位の福祉サービスの提供の中の、基本施策の3番目。専門分野の相談支援対策の充実。これは本当に皆さんがそれぞれ切磋琢磨して頑張っていると思うんですが。</p> <p>私がやはりこの間、必要だと思っていることは、8050問題に見られるような、横断的な分野がいろいろ重なった家族、世帯というものがとてもあります。なお、さっきも統計を見たら、麻生区はやっぱり1人暮らしがそれほど多くなくて、家族と住んでいる。それで、おうちの中にいるという。そういう条件ですよ。だから、8050問題は本当にきっと一つの大きな課題になってくると思います。</p> <p>なので、専門分野がそれぞれ充実するという目標だけでなく、連携というかあるいは、落とさない、つなぐ相談体制。そういうものをぜひ掲げていただけ</p>

	<p>たらありがたいと思います。</p> <p>それから、これはどうなのかなというご意見があるかと思います。コロナを通じて、地域のつながりづくりの仕方がとても大変にこれからなるのが目に見えていて。そのことはまだ答えが出ないまま、みんなどうしようと言っています。</p> <p>例えば、今も、この間区役所で会議があったんですが、その時に、ワイファイ環境がなくてオンラインができないという話になっていました。社協さんもまだご用意がないということで。でも、そういうところも、市民の啓発も含めて、こうやってつながるための環境づくりとかもやる必要があるのではなからうかと思いましたので。</p> <p>その辺りの、コロナ後の地域支援みたいなことを一つ掲げておくということをお願いできればと思いました。</p> <p>以上です。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>よろしいですか。</p>
事務局 (地域ケア 推進課)	<p>ご意見を承って。これについては、地域包括ケアシステムが目指す、皆さんが住み慣れた地域で安全に暮らすために必要なツールとして定着していくというような話にもなると思います。これは、企画課のほうで進めている希望のシナリオ、コミュニティ施策とか、そういうところとも大きく関連していくので、地域福祉のためのツールというところでやっていくのか、それとももっと大きな社会全体の動きとして捉えていったほうがいいのかということもあります。書き込みについては、当然活用した取り組みというのは必要になってくると思いますので、どんな形で書き込めるかということも今後課題としていきたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>まだまだご意見もあるかと思いますが、時間も限られておりますので、次の議事に進みたいと思います。</p> <p>それでは、議事の（３）地域包括ケアシステム構築に向けた取組について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次第の議事の（３）地域包括ケアシステム構築に向けた取組について、これまで地域福祉計画のご説明をさせていただきましたけれども、地域包括ケアシステムについて、①②③個別に完結にご説明させていただきます。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>議事（３）地域包括ケアシステム構築に向けた取組について ①本市の地域包括ケアシステム構築に向けた方向性について ※資料 8-1 に基づき説明</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>どなたかご意見・ご質問はございますでしょうか。</p> <p>村井先生。</p>

<p>村井委員</p>	<p>さっきお伝えしたとおりでございます。いわゆる縦割り化しないよう、地域福祉計画とこの計画のシステムの在り方が、必ず同一線上に一致するということが大事なことで。</p> <p>厄介なことは、根拠法が違っているのです。なかなかわれわれの統制を取りにくいという。介護保険法とそれから社会福祉法。全く違う概念で作られたものではない中で、少しこれの整合性を持つということがテクニックとしては重要になってくるかと思えます。</p> <p>逆に言えば、他の自治体ではやり切れていない部分を非常に先進的な取り組みの視点で展開する中では一つのモデルとなるので、われわれとしても包括ケアシステムの構築と地域福祉の推進が一体的なものであり。</p> <p>かつ、包括ケアシステムのすごくいいところというのは、一人一人の個別ケアを実践的なところから見ながら地域づくりへと発展させていくという、個別ケースケア会議等、そういったところもかなりしっかりとやった上で、地域課題というの抽出するという。</p> <p>地域福祉だと、どちらかというと、地域の全体の課題を見た上で一人一人の生活を何とかしていこうという、そういう免疫的なアプローチと機能型のアプローチという、ちょっと違うやり方が両方ともあるんで。</p> <p>それが融合すれば最強のアプローチだと思いますので、ぜひともうまく一つの連携モデルというか、統合モデルとして実現していければすごくいいかなと思っております。</p> <p>だから、できればやはり高齢者の包括ケアなんだという子ども・障害を持っている包括ケアというものを強く地域社会に私たち自身が共有できて、認識して、推進していけたらいいなという。</p> <p>だから、地域福祉なのか地域包括ケアシステムなのかという、二大巨頭みたいなになっちゃわないように。どういう概念整理をするのかみたいな。</p> <p>図があるとすごくいいんですけども、作れと言ったら多分地獄になっちゃうので、その辺りが難しいんですけども。だけれども、そういった見える化させていくことが何か必要ですね。どんな体系なんだろうかという。その辺りを今後、6期に向けて皆さんと話し合っていけたらいいなと思いました。</p>
<p>吉松委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、議事の(3)の②に関して、説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>議事の(3)の②令和元年度中に提案された地域課題の解決策について、ご説明をさせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>議事(3)地域包括ケアシステム構築に向けた取組について ②令和元年度中に提案された地域課題の解決策について ※資料8-2に基づき説明</p>
<p>吉松委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>どなたかご意見・ご質問はございますでしょうか。</p>
<p>依田委員</p>	<p>すごいですよね。こんな対応してくださる。</p>
<p>村井委員</p>	<p>まさに、われわれ委員がきちんと責任を持って発言しなくちゃいけないし、</p>

	<p>またそれを真剣に受け止めて、住民の代表としての認識を持って各課が真剣に対応してくださっているというこの建設的な仕組みというものは、今まで以上にすごいなという感じで。</p> <p>これまでもそういったことだったんですけども、ここまで明確に見える化されて戻ってくるということは、今後もぜひ多くの委員さん方が、事務局は大変になりますが、積極的にご発言いただき、地域住民の代表としての必要なことを提言していただいて。</p> <p>また、そのときに、私は一つだけお願いなことが、私たちはこれはここまですることができるから、行政と一緒に、社協と一緒にこうやっていこうという。その私たちの役割ということもちゃんとデザインした上で行政提案をしていかないと、請求性というだけでは本当にもったいないので。そんな仕組みづくりが続いていけばいいのかなとすごく思いました。</p>
吉松委員長	ありがとうございます。
事務局 (地域ケア 推進課)	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご評価いただいてとてもうれしいです。この会議については、うちのほうの事務局側も、区役所の中の主要部署で、みんな課長、管理職が出席していて、各委員の皆さんのご発言・ご意見を実際にちゃんと受け止めようというところなんです。</p> <p>なるべくそれが一方通行じゃなくてキャッチボールできるような、そういう会議になるといいなと思っています。作業部会にこの皆さんから出たいろいろな意見を投げて、各課で回答してくれということで考え方を整理していただくことで、職員のほうの意識の向上等にもつながっているというふうに思っております。</p> <p>できるだけいただいた意見については各課にフィードバックをして、こういう形を続けていけたらいいなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議事の（３）の③について。</p>
事務局	先ほど、言いましたが、地区カルテの公開についてご説明をさせていただきます。
事務局	<p>議事（３）地域包括ケアシステム構築に向けた取組について</p> <p>③地区カルテのホームページ公開について</p> <p>※資料８-３に基づき説明</p>
吉松委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今の説明に関して、どなたかご意見・ご質問はございますでしょうか。特にございませんか。</p> <p>それでは、議事の（４）をお願いします。</p>
事務局	<p>議事（４）今年度の会議スケジュールについて</p> <p>議事の（４）今年度の会議スケジュールについてでございます。</p> <p>先ほど全体のスケジュールはご覧いただきましたけれども、今年度につきま</p>

	<p>しては、第4回まで会議を設定してございます。</p> <p>まず、第2回につきましては、8月3日（月）13時からということで予定しております。</p> <p>第3回目は、9月23日（水）13時からということで、この第3回目までで、素案まである程度皆さまのほうにご意見をいただく機会にさせていただきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>例年のサイクルになりますけれども、第4回としまして、2月24日（水）13時からということで予定しております。</p> <p>皆さん、新型コロナだけではなくいろんな状況の変化があってお忙しいとは存じますけれども、できるだけ出席していただけるようにぜひよろしくお願いいたします。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
吉松委員長	<p>ただ今事務局から、今年度のスケジュールについての連絡でした。</p> <p>それでは、これをもちまして本日の議事については終了となりますので、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、スムーズな会の進行にご協力いただきましてありがとうございました。</p>
事務局	<p>議事3 閉会</p> <p>吉松委員長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで閉会とさせていただきたいと存じます。</p> <p>お車で区役所の駐車場をご利用の方につきましては、料金の割引のほうをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。今年度については、第6期の策定ということで事務局のほうもいろいろ一生懸命に準備作成していきますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
一同	<p>ありがとうございました。</p>